



丹沢大山の秋

## 目次

知識には個性がある (所長 福富洋志) .....	2
新型コロナウイルスについて 7 (2 回目の秋) (客員教授/学校医 大重賢治) .....	3
令和 3 年度第 2 学期入学者の集い .....	4
無限に見えてもそうではないもの (客員教授 國分泰雄) .....	6
「有機合成化学」とは～今年のノーベル化学賞について～ (客員教授 浅見真年) .....	7
令和 3 年度 神奈川学習センター開講ゼミ一覧 .....	8
新任客員教員の紹介 .....	9
第 6 回オンライン特別講義のご案内 .....	9
今年度開催した特別講義のご紹介 .....	9
K-サポートより .....	9
学生サークルからのお知らせ .....	10
神奈川学習センターからのお知らせ .....	12

# 知識には個性がある

放送大学神奈川学習センター  
所長  
福富洋志



緊急事態宣言が解除されて以来、新規感染者数の減少が継続しています。忘れかけていた日常を取り戻せる時期、ポストコロナ、ウィズコロナの時代が近づいてきた、と多くの皆様が感じていらっしゃると思います。

「なつだより」で記しましたように、神奈川学習センターも皆様の期待にお応えするため、利用の制限を徐々に緩和して参ります。既に11月9日には、事務室窓口ならびに図書を取り次ぎの予約制を解除しました。今後、地元自治体、近隣大学等の状況を見ながら、センターにおける学習支援を展開致します。

さて、多くの皆様のご承知のように、第二学期の面接授業は学習センターの講義室や実習室で対面にて行われています。改めて対面授業を受講されて、どんな気づきがあったでしょうか。

放送大学は教養学部だけの大学です。入学後、大きくりの科目区分から各々が関心を持つ科目を履修して単位を積み上げていくことで学士号の取得に至ります。ここでは、「知識を身につける」ことに主眼が置かれています。では「知識を身につける」とはどのようなことでしょうか。紀元前5世紀のギリシャの哲学者ソクラテスは、「知識は与えられるものではなく、自ら生み出すものであり、教師は知識を与えるのではなく、

知識が生み出されるのを助けるのである」としました。英語に「education」という語があります。ご存じの方も多いと思いますが、この単語の最初のeは「外側へ」を意味しており、単語全体では中に存在しているものを引き出す、という意味を持ちます。しかし、日本で「education」は「教育」とされ、教師の持つ知識を学生や生徒に教え、伝えることに重きが置かれ、情報の流通が一方向になっていました。本学の放送授業は典型的な従来型教育手法に他なりません。この点、教員や他の学生との意見交換や議論がなされてきた科目もある面接授業は、多様な考えや情報をまとめ上げて自分のものに昇華させる「education」の場となる可能性を持っています。もちろん、面接授業をこのような意義のあるものにするためには、受講する学生の皆様の努力が不可欠なのは言うまでもありません。そのようにして獲得した知識には当然個性があり、学生の皆様一人一人異なる、貴重なものと言えるでしょう。学習センターで個性ある知識を獲得していただきたいと思えます。

冒頭に記しましたように、ポストコロナ、ウィズコロナの時代が遠からず到来するものと思われます。しかし、一方でワクチン接種が進んだ国で現在感染者が増加しています。11月5日にはドイツ国内で1日の新規感染者数が過去最

大になりました。私達にはこれらの事実も見落とすことなく、これからも日常生活に慎重に臨むことが求められています。

最後に、繰り返しをお願いになりますが、神奈川学習センターの利用を希望される皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐための当センターの取り組みを理解いただいた上でお越しくくださるようにと存じます。



## 新型コロナウイルスについて 7 (2 回目の秋)

放送大学神奈川学習センター 客員教授/学校医 大重賢治

WHO が発行しているレポートに COVID-19 Weekly Epidemiological Update というものがあります。週 1 回、ウェブサイト上に掲載されますが、世界各地のコロナの流行状況が分かりやすくまとめられています。そのレポートの今年 (2021 年) の 10 月 19 日版に、変異株の占有率というのが掲載されていました。占有率、シェアといった方がイメージしやすいでしょうか。最初にインドで確認されたデルタ株は、今年の 5 月に WHO により“懸念される変異株 (Variants of Concern)” に指定されましたが、WHO 分類の 6 つの地域 (アフリカ、アメリカ、東地中海、ヨーロッパ、南-東アジア、西太平洋の各地域) すべてで、他の変異株 (アルファ株、ベータ株、ガンマ株、等) を凌駕し、10 月 15 日時点で世界シェアのほとんどを占めるに至った模様です。

ふゆだよりで、「広がり始めると感染力が高い変異ウイルスはあっという間に優勢になるでしょう」と書きました。概念ではそう理解してい

ましたが、ドラマティックに世界における勢力図が塗り替えられるのを目の当たりにするとウイルス界の厳しさを実感します。変異株どうし共存はしないようですね。

日本でも第 4 波の主演であったアルファ株 (最初にイギリスで確認) は第 5 波で主演の座をデルタ株に明け渡しました。一時、共存しているようにも見えたアルファ株とデルタ株ですが、結局、アルファ株は衰退しデルタ株が支配者となったようです。このへん、ネアンデルタール人とクロマニヨン人の関係性を見るようです。なお、11 月初旬の段階で、デルタ株が君臨する世界を脅かすような新興勢力の出現は確認されていないようです。

世界制覇をほぼ成し遂げたデルタ株ですが、現在、日本では勢いを失っています。今後勢いを取り戻すのか、それとも静かに衰退するのか、もう少し様子を見る必要があります。

## 令和3年度第2学期入学者の集い

10月9日（土）、令和3年度第2学期入学者の集いが、Zoomを利用したリモート方式で開催された。新型コロナウイルスの影響により令和2年度第1学期から中止が続いていたため、2年ぶりの開催となった。ビデオによる岩永学長の挨拶に始まり、福富所長の式辞の他、金田同窓会長、大谷客員教授から祝辞をいただいた。

### 岩永学長の挨拶

放送大学の設立経緯、沿革、使命、などを話されたあと、「放送大学の学びには、2つの大きな特徴がある。1つは、遠隔学習である、いつでもどこでも気軽に必要な学びを実現できる。もう1つは、経験や既存の知識を最大限に生かすということ——結晶性知力に基づく学習——現実の事象を理解するための説明を自らの経験値と既存の知識を総動員して組み立てそれを完結するために、不足している部分の知識を効率的に狙って獲得する。この学習こそ放送大学での修学に最も適していて、多くの方々が、そのような学びを進めている。ご一緒に楽しく学んでゆきましょう。」と締めくくられた。



### 福富所長の式辞

入学者の目的は様々で、一人一人で目的が違う。とくに全科履修生の皆さんは、学習の自由度の高さや科目の多様性という放送大学の良さが、裏を返せば、自分一人でカリキュラムを作り上げなければならないという難しさがあることに気づかれたのではないかと思う。



放送大学は、創立以来35年間で、累計172万人が在学した。全科履修生は32万人。うち12万人が学士号を得ている。卒業までは決して容易ではないが、大変多くの方が努力を重ねて卒業している事実もある。

放送大学では、主に自宅で一人で学ぶことになる

が、決して孤立しているわけではない。ときには、「見えない友と共に生き 共にまなぶ」と歌っている学歌を思い出して力を得てほしい。

そして、卒業の喜びを一人でも多くの方に迎えてほしい。神奈川学習センターの特徴として、学生ボランティアのK-サポートによる、パソコン指導や学習支援がある。また、サークル活動等皆さんの学びを豊かにする活動もある。

現在は、コロナ禍で思うに任せないが、かつてのように学習センターを気軽に使える日が来ると思っている。

### 金田同窓会長の祝辞

放送大学は入り口は広いが出口が狭いと言われている。誰でも希望すれば入学できるが、卒業するには相当な努力が必要で、卒業生は一様に、相当な努力をしたと話されている。放送大学は難しいのか？と問われれば、必ずしもそうではない、その話をしたい。



神奈川学習センターは、現在主流となりつつある駅近の大学とは違って伝統的な大学の雰囲気を残した環境である。また、同時双方向性の授業も、2021年2学期から始まっている。

1人で学んでいると自分の意見と1つの正解しかわからないし、退学者も多いが、仲間がいるといろいろな意見や答えがあることがわかり、学びを継続する力になる。放送大学では、仲間はサークル活動で得ることが多い。ぜひサークルに入りましょう。

ある客員教授の先生によると「大学は夢を求めるところ」という。これを聞くと、希望が湧いてくる。

### 大谷英雄客員教授の祝辞

放送大学に入学するということで、目的をもって入学されてきたと思う。放送大学は、他の大学に比べて、圧倒的に履修できる科目が



多い、各県にある学習センターの面接授業まで含めれば何千という科目が開講されている。目的をしっかり持っていないと自分が何をやりたいかわからなくなってくる心配もある、目的をはっきり持って学んでほしい。

高校までと大学での勉強の違いは、高校までは、教えてもらったことを覚えればよい。教師は、自分の言っていることは間違いのないと思って教えている。大学はそうではない。学問研究の最先端に行けば行くほど未だ確定していない内容を教えていることがある。聞いたことを覚えるだけではなく考えることもしてほしい。

今年のノーベル賞物理学賞の眞鍋先生を例にとれば、眞鍋先生のシミュレーションが正しいかは現在わかっていない。2100年の気温がどうなるかということシミュレーションしているので、それが正しいか否かは2100年までわからない。結果として、正しいか、正しくないかはわからないが「考え方」（シミュレーションをするという方法論として）は、間違いのないということで、ノーベル賞を受賞した。

大学の先生は、研究者として素晴らしく、皆さんにしっかり教えてあげようという気持ちもある。学生の皆さんは、先生が言われていることは本当はこうなのかな？と考えながら学んでゆく必要もあると思う。面接授業が始まったら、疑問があったら担当の先生に聞いていただきたい。客員の先生方は皆さん、面接授業で皆さんとお会いできることを楽しみにしている。

### オリエンテーション他

式典に続いて教務関係オリエンテーションが行われ、教務係長から学生生活の菜と学習センター利用の手引きの要点などが説明された。その後、若者の集い、K-サポート、サークル（サークル協議会）から活動内容などの紹介があった。

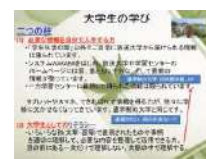


### 「放送大学における勉強の仕方」講習会

オリエンテーションの終了後に、福富所長による「放送大学における勉強の仕方」講習会があった。

### 大学生の学び

放送大学での学びは、郵便で送られてくるものだけではなく、システム WAKABA や大学のホームページを活用して必要な情報を自分で手に入れることが重要。大学生としてのリテラシー——さまざまな形で表現されたものや事柄を正しく理解し、内容を整理活用できる能力——が必要である。放送大学生は、一人一人が自分個人のための履修計画を作らなければならない。コースの教育目標や科目のナンバリング等を参考にしながら、自分専用のカリキュラムをできる範囲から作ることが大切。



### 放送大学の強みと難しさ

放送大学の強みは、複数の教員が関わって作られた優れた印刷教材が放送授業に用意されていること。また、納得行くまで何度も授業を受けられ、一部の分野ではインターネットで補習教材が用意されている。一方、個々人の時間環境に応じた学習が可能というメリットが難しさも生んでいる。放送大学の学習は孤独で、孤独な学習は必ず壁に当たるが、限られた時間内に一人で克服し突破しなければならない。壁を乗り越える方法の一つは、疑問点を正確に表現できるまで整理すること。自分がわからないものが何か、がわからない状況から脱出すること。

### ICTの重要性

現在は、ICTスキルが文系理系を問わずすべての大学卒業生に求められている。放送大学ではシステム WAKABA が ICT のもっとも重要なツール。高校までの復習ができる「放送大学自己学習サイト」、学習状況の確認ができる「学生カルテ」、「放送授業のインターネット配信」「Web 通信指導」「過去の単位認定試験問題・回答」などが用意されている。

今後、コロナウイルス感染症の流行が収束しても、以前と同一の社会状況には戻らず、IT社会は進化を続ける。放送大学で Zoom を使った講義が成果を上げ、レポートや試験も、パソコン利用を基礎としたものになっていくと想像できる。学習センターの利用が再開されたのちには、PC 実習室、図書室を利用し、サークル活動などで、見える友をつくって、充実した学生生活を送ってほしい。



## 無限に見えてもそうではないもの

放送大学神奈川学習センター  
客員教授

國分 泰雄

数学の世界では $\infty$ (無限大)の概念が零の発見と共に重要な発見と言われているが、実際にこの世界には無限量は存在しない。宇宙でさえ永遠の過去から続いていたわけではない(138億年前)。近年は気象異常事態やSDGsで地球の有限を思い知らされる日が多いが、最近では新型コロナウイルス禍でも様々な局面で思い知らされつつある。

医療体制ひっ迫が生命の安全に最も直結するのでマスコミに取り上げられない日はないが、通信システムの伝送容量も一時はひっ迫した時期があったことはあまり知られていない。

われわれが日々便利に使う通信とは、最初は電信電話から始まり、いまでは携帯端末で動画画まで双方向で伝送できる。2020年2月頃から新型コロナウイルスの感染拡大に伴ってまず企業のテレワークが増えて、さらに4月以降はほとんどの大学、それも世界中の大学が遠隔授業を導入した。この遠隔授業には様々な形態が存在するが、対面授業に比較的近い臨場感と学習効果が期待できる双方向の画像伝送を用いる同時双方向遠隔授業が多く使われている。

この急激な状況変化で通信需要(トラフィックという)の伸びは2020年2月時点から5月中旬までの僅か3か月で一気に1.6倍に増えた。この増加量はそれ以前に比べて一気に2年以上の増加量に匹敵する。この時期にいくつかの大学ではトラフィックの急激な集中で遠隔授業が一斉にダウンした(バックボーンのダウンではなく学内システムの問題)。また、情報伝送量を節約してバックボーン(幹線系)のダウンを回避するためにデータダイエットが呼びかけられた。それでもバックボーンの情報伝送システムがダウンしなかったのは、通信キャリア各社(特に自ら通信伝送路を構築している各社)が情報伝送容量に余裕を持たせたシステム更新を行ってきたためである。

バックボーンの情報伝送システムに光ファイバ通信が本格的に導入されたのは1984年であり、その当時の伝送容量は現在の各家庭まで引かれている光ファイバと同程度であった。それから37年で伝送容量は実稼働システムで10万倍(5桁)、実験システムでは1億倍(8桁)に増大した。図1にその年次推移を示す。1つの伝送技術では伝送容量が飽和し、その限界を打開するために新技術が導入されて伝送容量の拡大が図られてきたことが分かる。こういった伝送技術の革新は送受信装置や中継器に組み込まれる技術で、光ファイバ自体はほぼ手付かずだった。

しかし、現状技術の限界が予見され、13年前から超大容量化のための新たな光ファイバの研究が開始された。光ファイバ内の光の通路(コアと言う)を複数にする空間多重と、コア内に複数の電磁界モードを発生させるモード多重である。図1に示す2011年以降の実験システムの2桁の大容量化はこの新型光ファイバを用いた日本の研究成果であり、世界記録である。この伝送容量は、2時間の映画1本分を収めたDVD5万枚分の情報を1秒で送ることができる。この新技術が早く実稼働システムに導入されることを期待しているが、それでも情報伝送容量は無限ではないことは心にとどめておく必要がある。

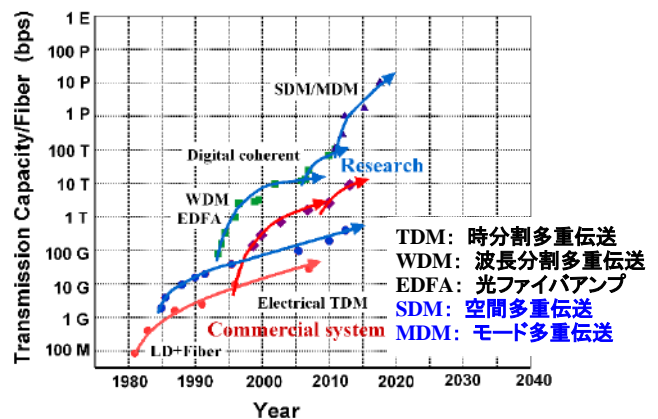


図1 光ファイバ1本あたりの伝送容量の年次推移



## 「有機合成化学」とは ～今年のノーベル化学賞について～

放送大学神奈川学習センター  
客員教授

浅見 真年

有機化合物の中には、薬や香料、液晶や有機 EL、プラスチックや繊維の原料など、われわれの生活の様々な場面で役立つものが多くあります。「有機合成」を専門としているという、「なにを作っているのですか？」と聞かれます。有機合成化学の分野では、有用な物質を目的として合成することと同様に、新しい反応や試薬を開発することも重要です。合成の目的となる有用な化合物は、一般に炭素数も多い複雑な構造をもっています。石油などから得られる、炭素数の少ない簡単な構造をもつ出発物質から、炭素数の多い複雑な構造の目的物質を作るためには、新しく炭素と炭素の結合を作らなければなりませんし、他にもいろいろ工夫が必要です。この分野は日本の得意分野であり、ノーベル化学賞を受賞された野依良治先生(2001年)、鈴木章先生(2010年)、故根岸英一先生(2010年)を始め、この分野を先導する先生がたくさんおられます。

どのように有機合成を説明しようかと考えていた10月6日に、今年のノーベル化学賞が「不斉有機触媒の開発」という受賞理由で、ドイツのベンジャミン・リスト博士とアメリカのデービッド・マクミラン教授に授与されると発表されました。まさに「新しい反応や試薬の開発」の研究でしたので、ここでは「不斉有機触媒の開発」について紹介します。

有機化合物の構造の複雑さの一つが、鏡像異性体

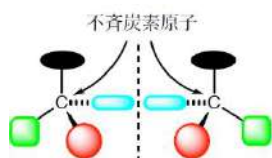


図1. 鏡像異性体

です。炭素は4本の手を使って他の原子と結合して正四面体の構造を作りますが、このとき二通りの空間配置がとれます(図1)。この二つは鏡に映した関係にあり、よく「右手型」、「左手型」といわれますが、もちろん分子に右手、左手があるわけではなく、化学的には例えばD-体、L-体とい

います。1960年代に起きたサリドマイド(図2)薬害事件もきっかけの一つとなり、有機合成化学の



図2. サリドマイド

分野では、1970年頃から必要な鏡像異性体を選んで作る「不斉合成」の研究が活発に行われるようになりました。野依先生の業績を始めとする金属触媒や、酵素のような生体触媒を用いて多くの成果が得られていましたが、リスト博士は2000年に、金属でも酵素でもない、アミノ酸の一種で分子量の小さな有機化合物であるL-プロリンを触媒として用いることにより、炭素と炭素の新しい結合を作るとともに鏡像異性体の生成も制御できることを見いだしました(図3)。マクミラン教授もほぼ同時期に簡単な有機化

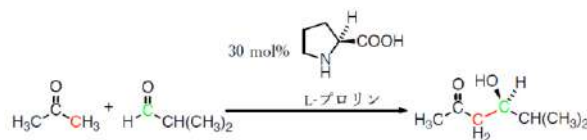


図3. リスト博士の最初の報告(2000年)  
(出発物質の赤色のCと緑色のCが反応し、生成物の赤線で示した結合ができる。)

合物が、不斉合成の優れた触媒になることを報告しました。

不斉有機触媒は、一般に安価で取扱いも容易、金属を用いないので生成物に残留金属が混入する心配はなく環境に優しいなど、優れた点が多く、2000年以降この分野の研究が世界中で爆発的に進みました。日本の研究者の貢献も非常に大きく、この反応を利用して抗インフルエンザ薬「タミフル」の合成を達成したのも、日本の研究者です。

40年以上有機合成化学に携わり、L-プロリンの誘導体を用いる不斉合成に関わってきましたので、今回のリスト博士、マクミラン教授の受賞は、とても感慨深いものでした。

## 令和3年度 神奈川学習センター開講ゼミ一覧

神奈川学習センターのゼミは、客員教員が主催する勉強会です。実施方法は、①「学習センターでの対面式」、②「Web 会議システム等オンライン」、③「①と②の併用式」があります。①の**学習センターでの対面式の場合**、本センターの教室を使用しているゼミは現在**教員を含めて10名以下**としております。ゼミの開講状況、実施方法については、**教員までご確認ください**。

### ●神奈川学習センター客員教員開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催予定日	連絡先
飯田 深雪 新規開講	世界の多様性を学びながら育む英語コミュニケーション能力	異文化、健康、環境問題、観光などグローバルなテーマを扱う課題を毎月読み、テーマについて深く考え、意見交換ができるようになることが目的です。自身で課題を読み、毎回リスニングや会話練習、リサーチをして自身の考えをまとめて発表する（ペアでの発表も可）などの活動を通して、英語コミュニケーション能力を養います。	毎月 第2土曜日	iidamcat9@gmail.com
植村 博恭 新規開講	グローバル時代の社会と経済政策：生活者の視点から考える	本ゼミナールは、グローバル時代の社会と経済政策のあり方について学びます。特に、様々な身近な問題を毎日働き暮らしている生活者の視点で考えていきたいと思えます。 日本企業における働き方の改革、男女平等社会の実現、退職後の安心できる暮らし、個人資産の有効な管理と運用などを取り上げつつ、私たちひとりひとりの生活を支えてくれる経済政策のあり方はどのようなものか、勉強していきます。 特に、若者、中堅世代、高齢者、女性、男性といった様々な世代の市民の観点からゼミを進めて行きたいと考えています。	原則月2回 金曜日 または 土曜日（曜日は変更の可能性あり）	huemura@symphony.plala.or.jp
大谷 英雄 新規開講	化学災害を知る	化学産業あるいは化学物質において発生する事故を防止し、災害を防ぐための一つの方法として過去に起こった事故について分析・検討し、その再発防止あるいは類似の事故の発生を防止するための情報を得ることが有益であるとされている。このゼミナールでは、過去の事故について一緒に考えてみたいと思う。	毎月第3火曜日 を想定しているが、学生との調整により変更もあり	ohtani-hideo-hc@outlook.com
高橋 邦年	英語基礎ゼミナール	毎回3時間（休憩10分）の活動を行う。平易な英語教科書を選び、必要に応じて講師が内容について説明・解説をし、それを受けて学生が演習を行なう。進度はあらかじめ定めず、無理なく進める。	基本的に毎月 第2土曜日 または 第3土曜日	takahak18@gmail.com

### ●元客員教員開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催日	連絡先
上川 孝夫	上川ゼミ	金融や国際金融を中心に、経済学を学ぶゼミです。基礎を重視しながら、幅広いテーマを取り上げます。なお、新型コロナウイルスの感染状況次第では、Web 会議システム Zoom を利用して実施します。	原則 第3土曜日	kamikawa@ynu.ac.jp
杉田 正樹	哲学カフェ	哲学カフェをやります。身近な問題をその場でお互いに出し合い、それについて話し合います。特別な準備や知識は不要です。	原則 第3金曜日	msugita@kanto-gakuin.ac.jp
角 洋一	角ゼミ	角ゼミでは、2016年度から明治・大正期を代表する物理学者・随筆家である寺田寅彦の随筆を中心に輪読を実施しているが、2021年度も継続して実施し、寅彦とその時代の理解を深める。	原則月1回 第2木曜日	sumi@ynu.ac.jp
種田 保穂	種田ゼミ	センターでの文献紹介、ズーラシア・新江ノ島水族館・科学博物館等見学、野鳥観察、磯の生物観察（真鶴）	月1回程度	taneda-yasuho-pj@ynu.ac.jp
茂木 一衛	茂木ゼミ	主にヨーロッパの芸術音楽について、歌唱、演奏、鑑賞の活動を通して学習・理解し親しみます。	毎月 木曜日1回 日曜日1回	kmoteki@nifty.com



## 新任客員教員の紹介

11月1日付で、杉内肇先生が神奈川学習センター客員准教授に就任されましたので紹介します。



### 杉内 肇 (すぎうち はじめ) 客員准教授

横浜国立大学工学研究院講師 / 工学博士  
専門：機械工学、制御工学

ロボットに色々な作業をさせたり、色々な動作を実装したりする研究に携わってきました。最近ではスケートロボットの研究をしています。みなさまとお会いできるのを楽しみにしております。

## 第 6 回オンライン特別講義のご案内

神奈川学習センターでは、下記の通り在学生向けのオンライン特別講義を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。



### 予測困難な時代に求められる教育

木村昌彦 先生

(放送大学客員教授/横浜国立大学教育学部長)

2021年12月5日(日)

13時30分～15時00分

定員 50名

- Web 会議室システム「Zoom」を使用したオンライン講義です。
- この特別講義は在学生に向けた講義です。学籍のない方はお申し込みできません。また、参加多数の場合は神奈川学習センター所属の方を優先させていただきます。
- お申し込みは神奈川学習センターホームページ上で受け付けています。詳しくはホームページをご覧ください。

## 今年度開催した特別講義のご紹介

神奈川学習センターでは、令和3年度に以下の特別講義を開催してきました。今後も様々なテーマの特別講義を開催していく予定です。

第 1 回 5月29日(土)

講 師 大谷英雄 先生(放送大学客員教授)

演 題 火災と爆発の違いから学ぶ燃焼学

第 2 回 6月27日(日)

講 師 富岡幸一郎 先生(放送大学客員教授)

演 題 一神教との出会い 内村鑑三『余は如何にして基督信徒になりしか』

第 3 回 7月10日(土)

講 師 間嶋隆一 先生(放送大学客員教授)

演 題 地層と化石の研究が明らかにした関東地方の地球科学

第 4 回 10月23日(土)

講 師 棚橋信明 先生(横浜国立大学教育学部教授)

演 題 都市ケルンと大聖堂建設の歴史

第 5 回 11月13日(土)

講 師 大重賢治 先生(放送大学客員教授/横浜国立大学保健管理センター所長)

演 題 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の現状

## K-サポートより

2021年10月9日(土)のZoom配信による2学期の入学者の集いのオリエンテーションでは、K-サポートの説明の時間が10分間設けられました。5つのチームと事務局は、集いに出席する入学生向けの説明用印刷物と「センター利用の手引き」の該当ページ(pp.45-46)を見ながら視聴していただくための配信用動画の作成に取り組みました。各チーム(①学習相談、②機関紙編集、③地域連携、④バス研修、⑤PCサポート)のリーダー等は、主にこれまでの活動実績について写真入りのパワーポイントのスライドを示しながら口頭で紹介を行う中で、活動の再開に向けた意欲を新たにしました。

学生の皆さまには、今後の状況に応じて計画が具体化した時点で、ご参加いただける活動について随時お知らせしていく予定です。

K-サポート事務局

## 学生サークルからのお知らせ

※サークルの活動内容や加入等に関するお問い合わせは、下記の各サークルの連絡先にお問い合わせ下さい。神奈川学習センターではお答えすることができません。

**現在、学習センターの利用制限等により、平常時と異なった活動になっています。現在の活動と平常時の活動が記載されていますので、ご注意ください。**

### ○神奈川放友会

わたしたちは、1985年当センター開設と同時に生まれたサークルで、「人間的交流を通じて豊かな学生生活を共有する」という理念の下に、多くの会員が様々なイベントや会内同好会に集い共に学んでまいりました。先期はコロナ禍のため、活動が極度に制限された苦しい1年でしたが、新年度はリアルな交流活動を再開してゆこうと張り切っています。ぜひ当会に入会され、共に学び共に語り合しましょう。詳しくは、ホームページ <http://kanagawa-hoyukai.jp/> をご覧ください。

お問い合わせは、事務局:真野憲助まで。(メール: [mano.ken@nifty.com](mailto:mano.ken@nifty.com) 電話:090-3507-7540)

### ○韓国語同好会

★目的 韓国語の日常会話を習得する。

日韓交流会を通して韓国の歴史や文化に直接触れる。

★定例会 月/2回 第2, 第4土曜日 10:00~11:00 Zoom(リモート)授業 60分 講師:姜貞福(강정복)先生 第4土曜日はZoom授業後会員ミーティング 30分。

★Zoom(リモート)親睦会 第2土曜日 11:00~12:00 会員に限らず有志でお互いの親睦と日韓文化交流を図る。

★問合せ 神奈川サークル協議会ホームページ <https://kcc-oug.net/danntai/hanngugo/> 090-5797-9418(村田)

### ○資格取得研究会

看護・福祉分野(心理や教育系も含む)のキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。目標の資格は、正看護師、看護学士、認定心理士など。例会は、ひと月に1回、土曜または日曜に開催。情報交換が中心。オンライン例会計画中。

★会費: ¥500(1年間)

★ホームページ… <http://shikaku.yumesora.net>

★お問い合わせ…080-5546-7913(はこざき)

### ○人間学研究会

★「目的:人間の本質的・実質的なあり方について、多面的視野から学習。会員の交流と親睦を図る」 会員 71名(男性42 女性29)

★月例会: 卒業研究・旅行経験等のテーマで発表

11月13日 中央アジア旅行記 (Zoom 利用)

12月4日 写真で見る幕末明治維新の江戸・東京(大岡地区センター)

★会誌「せせらぎ」32号を発行

★ウォーキング : 鎌倉等散策、美術館巡り等

★お問い合わせ : 大和田克美 [oowada-katsumi@u01.gate01.com](mailto:oowada-katsumi@u01.gate01.com)

### ○うえるかむ Kanagawa

私達は英語を楽しみながら学んでいるサークルです。

\*例会は原則、毎月第2、第4水曜日。現在、Zoomを利用したオンライン開催

\*外国人講師の英会話レッスン(10:00~11:30)

(参加費有料、初中級・上級の2クラスに分かれ、各45分)

\*Group Study(13:30~15:30)

(入門・初級・中級・上級の4クラスに分かれ学生同士で学ぶ)

\*10月以降状況によりオンライン・対面併用検討中

\*年会費: 現在は無料(通常は年1,000円)

\*ホームページ

<https://welcome-kanagawa.jimdofree.com>

\*問い合わせ

金子 響(e-mail: [kaneko-toyomu@outlook.jp](mailto:kaneko-toyomu@outlook.jp))

### ○放大きながわレク・サークル

★サークル活動: 放送大学生との「仲間作り」とウォーキング等の「健康づくり」

★例会: 2ヶ月に1回(含、映画鑑賞会)

★ウォーキング: 2ヶ月に1回、「日光街道」実施中。名所旧跡文化施設等も対象。

★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。

上記の各種活動はいずれも自由参加。

—会員募集中(随時申込・受付)—

★問合せ: 島田 義治 Tel 090-3907-8384

E-mail [simada.yosiharu@coral.plala.or.jp](mailto:simada.yosiharu@coral.plala.or.jp)

## ○ダンスサークル(社交ダンス)

学習センター閉鎖中は活動休止

ダンスはスポーツ！人生 100 年時代に向けて健康増進、素敵な姿勢、ストレス解消に是非一緒に踊りましょう。未経験者大歓迎！

★神奈川学習センター第 7 講義室★毎週火曜 14:00～16:00(第 1, 第 3 週は自主練習)★会費 1500 円/月、年会費 1000 円★ダンスパーティーで踊れるレベルへ練習(モダン、ラテン)★全科履修生の方は 30 時間のレッスンで体育実技 1 単位の取得が可能。

連絡先 中村健 tarumakan0904n@gmail.com

## ○スペイン語研究会

★目的:西語日常会話習得と西語圏歴史・文化を学ぶ。★活動:月 2 回(第 1・第 3 木曜日)。★会費:月 1,000 円。★内容:ペルー人女性講師による日常会話習得、会員・ゲスト スピーカーによる西語圏研究発表・講演。★その他:反省会等。★学習センター閉鎖中は、大岡・南地区センター利用。★連絡先:会長・肥後照雄・メールアドレス:

t\_higo@cb3.so-net.ne.jp

## ○中国語学習会

中国語の日常会話の習得を目指して楽しく学んでいる団体です。ベテランの中国人講師 2 名の発音を重視した指導のもと、コロナ感染状況が収束するまではオンラインでの学習会を原則、月 3 回、第 1、第 3、第 4 日曜日に初級、中級を交互に午後 2 時半より 4 時まで開いています。初めて中国語を勉強する人も楽しめます!! 先ずはお問い合わせ下さい!

★お問い合わせ:

shonan.hirasawa@gmail.com 平澤

## ○神奈川合唱団

★合唱を愛好する皆さんと一緒に合唱を通して学生生活を楽しむサークルです。

現在 30 有余名の会員がおります。

★今年は、<贈る言葉>、<大地讃頌> <Believe>、<群青>、<翼をください>などを練習しております。

★来春には、東日本大震災復興チャリティ

コンサート出演に向けて練習中です。

(R4/3/26 or 27 を予定)

★定期練習は、発声・歌唱指導:清水一成先生、ピアノ伴奏:新井ゆう子先生の指導により練習を続けております。

☆場所:大岡地区センター 音楽室 2 階 (放大神奈川学習センター斜め前のビル)

☆日時:毎月第 2・4 水曜日 18:00～20:00

☆連絡先:馬場信一 s-baba820@leaf.ocn.ne.jp

## ○歩・歩の会(地球研)

目的:地球科学研究ゼミ(有馬ゼミ)を発展的解消し、結成されたサークルです。

地球科学をベースに自然を学びその価値を知り、かけがえのない地球環境の SDGs に寄与したい。

活動:毎月一回

活動拠点:三浦半島海岸、伊豆大島、丹那断層、丹沢山地、伊豆東部単成火山群(城ヶ崎など)の地質、地層の観察、各地の Geo Site 行脚。

☆ご興味のある方はご連絡ください。

(代表:吉岡・中澤)

e-mail earth.hoho.kanagawa@gmail.com

## 神奈川同窓会だより

### ミニ・サロンのご案内

神奈川同窓会では、Zoom利用の会員交流の場「ミニ・サロン」を開催しております。

(2ヶ月に一回開催していますが、次回以降の開催日程は、未定です。)

会員皆様多数のご参加をお待ちしております。

同窓会に対するお問い合わせ info@hatoh.net

### OUJ神奈川学習センターだより編集部

家田、伊藤、入江、遠田、笠井、吉川、木下、宮崎、三国(以上、K-サポート機関紙編集チーム)

垣谷(K-サポート事務局)

中ノ園(学習センター事務局)

# 神奈川学習センターからのお知らせ

## 年末年始等の閉所日のお知らせ

神奈川学習センターでは、以下の日程が閉所日となります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解の程お願いいたします。

年末年始等の閉所日：12月27日（月）～1月4日（火）、1月11日（火）

## 神奈川学習センターの施設利用について

11月9日（火）から、一部施設利用の事前予約を不要にするなど、学生の学習センターへの利用制限を緩和しました。新型コロナウイルスの感染拡大状況によって今後変更する可能性がありますので、学習センターの利用にあたっては事前にホームページをご確認ください。

事前予約が不要	事務室窓口（各種証明書の発行、学生証の交付等）、予約図書の出借・返却
事前予約が必要	視聴学習室・図書閲覧室の利用、入学・学習相談（電話又はZoomで実施）
利用不可	実習室、談話室（自動販売機を除く）

## 学生証の交付について

学生証の交付（更新を含む）については、以下のとおり行います。神奈川学習センター所属の学生が対象です。

### 郵送での交付

下記の書類を神奈川学習センターまでお送りください。

#### ① 任意様式の申請書（コピー用紙、便箋など用紙を問わない）

「学生証郵送希望」と明記のうえ、学生番号、氏名、住所、生年月日、日中連絡のつく電話番号、を記載

#### ② 特定記録郵便 244円分の切手を貼った送付先明記の定型返信用封筒

#### ③ 本人確認書類

新入生は、入学許可書のコピー及び顔写真付きの公的な身分証明書（運転免許証、パスポート等）の写し  
在学学生は、有効期限切れの学生証

### 来所での交付

新入生は入学許可書、在学学生は有効期限切れの学生証を持って神奈川学習センターにお越しください。

## 第2学期通信指導の提出期間等（学生生活の葉を熟読のこと）

≪郵送提出≫ 2021年11月16日（火）～11月30日（火） 放送大学本部必着

≪Web提出≫ 2021年11月9日（火）10:00～11月30日（火）17:00まで

〈添削結果返送時期〉 2021年12月末～1月上旬

以下の期限までに添削結果が届かない場合は、放送大学本部まで連絡してください。

① 択一式科目（併用式科目の択一部分）： 2022年1月7日（金）

② 記述式科目（併用式科目の記述部分）： 2022年1月17日（月）

○通信指導は、放送授業科目の単位認定試験を受験するための中間課題です。

○未提出及び期限外に到達した場合は単位認定試験を受験できません。

○問題は原則印刷教材とともに送付されます（再履修等の場合は別途郵送されます）。

11月4日（木）までに届かない場合は、放送大学本部に連絡してください。

放送大学本部窓口：043-276-5111